

シリーズ⑤

## 我が家のお家庭教育

篠本一区 平山久子

長男には、背中のランドセルは、心も重たそう。山の坂を越えて、小学校までの三キロメートルは、少々、厳しい道のりのようです。

さにその通りだと思います。子供の成長、人格形成は、親の生き方に強く影響される道を越えて、小学校までの三キロメートルは、少々、厳しい道のりのようです。

例えば、親が年寄りを大事にすれば、子供も、やがて年とった両親を、たいせつにすると思います。

「いってきまーす」と、元気よく出かける小学校五年生の長女と、一年生の長男。姉の後にぴったりと、くつつくようについて行く。

二人の子供達と三世代同居の六人家族です。

「子供は親の後ろ姿を見て育つ」とは、よくいわれていますが、家庭での教育は、ま

たくさん学びます。

## 姉弟仲良く

### 『思えば思われる』



## 大師参り

毎年四月になると「南無遍照金剛」の唱和と、チン・チンという鉦の音が聞こえます。

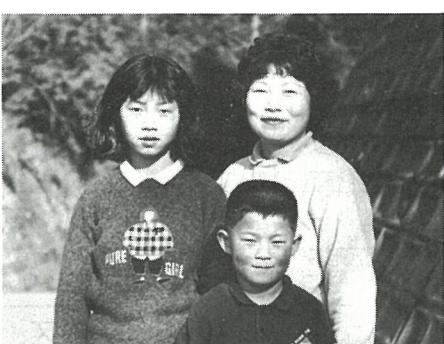
通称「お大師様」といわれています。町内には、八日市場市から入り、町の上部を回る海聴講と、野栄町から入り、町の下部を回る教海講の二つがあります。

江戸時代の終わりから続いている大師参りの一行も、徒歩から自転車へ、自転車から自家用車へとその姿も変わります。

これは、四国八十八カ所巡礼地をまねて作られた東総新四国

**新入園・入学を控えて**

## いま 身につけさせよう 子供への交通道徳



お金さえ出せば、欲しいものは、ほとんど手に入る今日、小さい子には、理解できません。いつもでも、姉弟仲良く、健康で成人するようにと願っております。

それから、もう一つ、他人への思いやりを持つこと。「思えば思われる」の通り、まず、自分から相手を思うこと。